

会派名 新政会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目金額					小計		
1	調査研究費	会派行政調査 (H29.8.7~ H29.8.8) 新潟市、高崎市	交通費		旅費	409,260	自動車燃料費	409,260	
			資料作成費		調査委託費		振込料		
2	研修費		会場費		講師謝金		出席者負担金・会費		
			交通費		旅費		自動車燃料費		
			資料作成費		食糧費		振込料		
3	広報費		会場費		交通費		自動車燃料費		
			資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費		
			送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代		
			振込料						
4	広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費		
			資料作成費		茶菓子代		振込料		
5	要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費		
			資料作成費		振込料				
6	会議費		会場費		交通費		自動車燃料費		
			資料作成費		振込料				
7	資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料		
			振込料						
8	資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料		
			雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料		
9	人件費		賃金		社会保険料等		振込料		
10	事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費		
			印刷代		振込料		配送手数料		
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)		
			その他						
使用者	共通	 支出年月日	29年	8月	1日	現金出納簿 支出番号	9	合計	409,260 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 9

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 遠藤敏郎



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	409,260円（1人あたり63,620円 x 6名） （1人あたり27,540円 x 1名）		※別紙、旅費計算書のとおり
目的	会派行政調査		
用務先	新潟市、高崎市		
内容	1、新潟市・地域の茶の間への助成事業について 2、高崎市・空き家緊急総合対策について		
期間	29年 8月 7日 ~ 29年 8月 8日（1泊2日）		
行程	別紙の通り		
出張(調査等)者氏名	・遠藤敏郎（代表者）	・橋本幸一	
	・石川義和	・	
	・栗原 晃	・	
	・折笠 正	・	
	・會田一男	・	
	・廣田耕一	・	
特記事項			

上記のとおり出張（調査等）を許可します。					
会派会長	経理責任者			受理日	29年 8月 1日
				許可日	29年 8月 1日
				支出日	29年 8月 1日

上記金額を受領しました。	
29年 8月 1日	申請代表者氏名 <u>遠藤敏郎</u>

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 遠藤敏郎、廣田耕一、栗原晃、橋本幸一、會田一男、折笠 正
 日程 : 平成29年8月7日(月)～8月8日(火)
 行先 : 地域包括ケア推進モデルハウス 実家の茶の間・紫竹(新潟県新潟市東区紫竹4-21-62)
 高崎市役所(群馬県高崎市高松町35番地1)

8月7日	郡	新幹線 やまびこ 126号	大	新幹線 とき 361号	新														
	山	196.4	宮	303.6	潟														
	駅		駅		駅														
運賃	7,880																	7,880	
急行料金	2,590																4,220	6,810	
グリーン	2,060																4,110	6,170	
実費																		0	

8月8日	新	新幹線 Maxとき 310号	高	新幹線 あさま 616号	大	新幹線 やまびこ 53号	郡												
	潟	228.9	崎	74.7	宮	196.4	山												
	駅		駅		駅		駅												
運賃	7,880																	7,880	
急行料金	3,470																1,840	2,590	7,900
グリーン	3,090																1,030	2,060	6,180
実費																		0	

運賃																		0	
急行料金																		0	
グリーン																		0	
実費																		0	

交通費 42,820
 日当 3,000 × 2日 = 6,000
 宿泊費 14,800 × 1泊 = 14,800
 合計 63,620 × 6人 = 381,720

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 石川義和
 日程 : 平成29年8月8日(火)
 行先 : 高崎市役所(群馬県高崎市高松町35番地1)

8月8日	郡 山	新幹線 やまびこ 206号 196.4	大 宮	新幹線 Maxとき 307号 74.7	高 崎	新幹線 あさま 616号 74.7	大 宮	新幹線 やまびこ 53号 196.4	郡 山						
運賃	4,750			4,750									9,500		
急行料金	2,590	1,840		1,840	2,590							8,860			
グリーン	2,060	1,030		1,030	2,060							6,180			
実費													0		

運賃													0
急行料金													0
グリーン													0
実費													0

運賃													0
急行料金													0
グリーン													0
実費													0

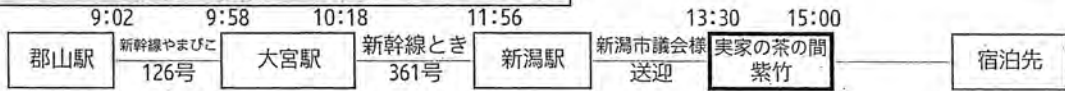
交通費 24,540
 日当 3,000 × 1日 = 3,000
 宿泊費 14,800 × 泊 = 0
 合計 27,540 × 1人 = 27,540

平成29年度 新政会行政調査日程表

1 行程

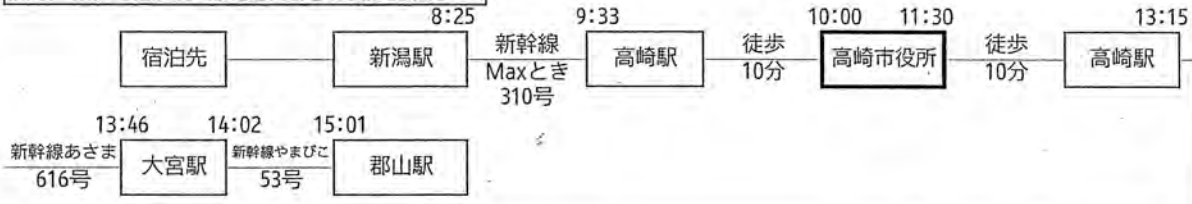
□ 1日目：8月7日（月）

新潟市：地域の茶の間への助成事業について

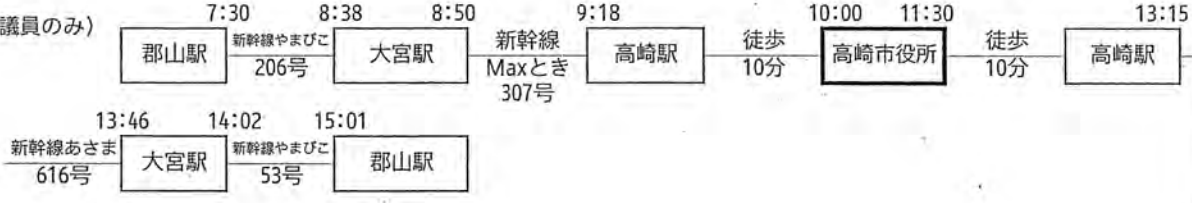


□ 2日目：8月8日（火）

高崎市：空き家緊急総合対策について



(石川議員のみ)



2 人員 7名

- 遠藤 敏郎 議員 (会長)
- 石川 義和 議員
- 廣田 耕一 議員
- 栗原 晃 議員
- 橋本 幸一 議員
- 會田 一男 議員
- 折笠 正 議員

※石川義和議員は、8月8日（火）高崎市視察のみ参加

3 視察内容

- 1 平成29年8月7日（月） 13:30~15:00
新潟市
・地域の茶の間への助成事業について
- 2 平成29年8月8日（火） 10:00~11:30
高崎市
・空き家緊急総合対策について

4 連絡先

○新潟市議会事務局 調査法制課 シブタ様
〒951-8550 新潟県新潟市中央区学校町通1番町602-1
TEL 025-226-3385 FAX 025-223-5566

○高崎市議会事務局 議事課 タカハシ様
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
TEL 027-321-1281 FAX 027-327-8303

5 その他





出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 9

会派会長様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。



出張（調査等）議員名

・遠藤敏郎		・栗原 晃	
・橋本幸一		・折笠 正	
・石川義和		・會田一男	
・廣田耕一		・	

記

期 間	29年 8月 7日 ~ 29年 8月 8日 (1泊 2日)					
目 的	会派行政調査					
用 務 先	新潟市、高崎市					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	1、新潟市・地域の茶の間への助成事業について 2、高崎市・空き家緊急総合対策について					
旅 費 精 算	受領額	409,260 円	精算額	409,260 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

会派会長	経理責任者			受 理 日	29年 8月 9日
				確 認 日	29年 8月 9日
				精 算 日	29年 8月 9日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 遠藤敏郎、廣田耕一、栗原晃、橋本幸一、會田一男、折笠 正
 日程 : 平成29年8月7日(月)～8月8日(火)
 行先 : 地域包括ケア推進モデルハウス 実家の茶の間・紫竹(新潟県新潟市東区紫竹4-21-62)
 高崎市役所(群馬県高崎市高松町35番地1)

8月7日	郡	新幹線 やまびこ 126号	大	新幹線 とき 361号	新																			
	山	196.4	宮	303.6	潟																			
	駅																							
運賃		7,880																						7,880
急行料金		2,590		4,220																	6,810			
グリーン		2,060		4,110																	6,170			
実費																					0			

8月8日	新	新幹線 Maxとき 310号	高	新幹線 あさま 616号	大	新幹線 やまびこ 53号	郡																	
	潟	228.9	崎	74.7	宮	196.4	山																	
	駅																							
運賃		7,880																						7,880
急行料金		3,470		1,840		2,590															7,900			
グリーン		3,090		1,030		2,060															6,180			
実費																					0			

運賃																					0
急行料金																					0
グリーン																					0
実費																					0

交通費 42,820
 日当 3,000 × 2日 = 6,000
 宿泊費 14,800 × 1泊 = 14,800
 合計 63,620 × 6人 = 381,720

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 石川義和
 日程 : 平成29年8月8日(火)
 行先 : 高崎市役所(群馬県高崎市高松町35番地1)

8月8日	郡山駅	新幹線 やまびこ 206号 196.4	大宮駅	新幹線 Maxとき 307号 74.7	高崎駅	新幹線 あさま 616号 74.7	大宮駅	新幹線 やまびこ 53号 196.4	郡山駅								
運賃	4,750				4,750								9,500				
急行料金	2,590	1,840	1,840	2,590					8,860								
グリーン	2,060	1,030	1,030	2,060					6,180								
実費															0		

運賃															0
急行料金															0
グリーン															0
実費															0

運賃															0
急行料金															0
グリーン															0
実費															0

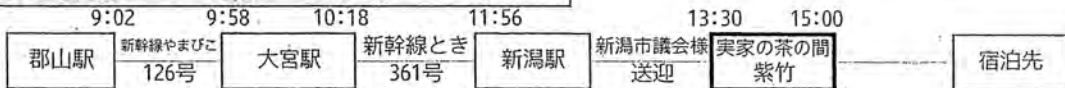
交通費 24,540
 日当 3,000 × 1日 = 3,000
 宿泊費 14,800 × 泊 = 0
 合計 27,540 × 1人 = 27,540

平成29年度 新政会行政調査日程表

1 行程

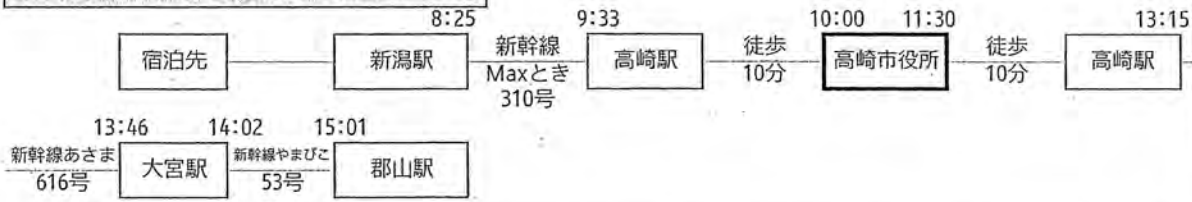
□ 1日目：8月7日（月）

新潟市：地域の茶の間への助成事業について

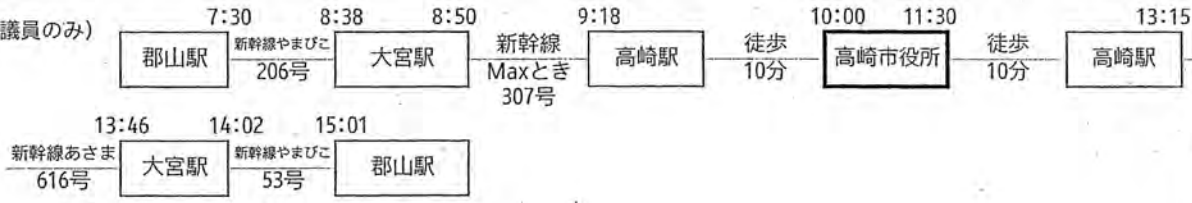


□ 2日目：8月8日（火）

高崎市：空き家緊急総合対策について



(石川議員のみ)



2 人員 7名

- 遠藤 敏郎 議員 (会長)
- 石川 義和 議員
- 廣田 耕一 議員
- 栗原 晃 議員
- 橋本 幸一 議員
- 會田 一男 議員
- 折笠 正 議員

※石川義和議員は、8月8日（火）高崎市視察のみ参加

3 視察内容

- 1 平成29年8月7日（月） 13:30~15:00
新潟市
・地域の茶の間への助成事業について
- 2 平成29年8月8日（火） 10:00~11:30
高崎市
・空き家緊急総合対策について

4 連絡先

○新潟市議会事務局 調査法制課 シブタ様
〒951-8550 新潟県新潟市中央区学校町通1番町602-1
TEL 025-226-3385 FAX 025-223-5566

○高崎市議会事務局 議事課 タカハシ様
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
TEL 027-321-1281 FAX 027-327-8303

5 その他



領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄



新潟市福祉部
地域包括ケア推進課
Regional Support Division

課長
関 智雄
Tomoru Seki

〒951-8550
新潟市中央区学校町通1番町602番地1
TEL 025-226-1300(内線31300)
FAX 025-222-5531
E-mail: [Redacted]
URL: http://www.city.niigata.lg.jp/



新潟市福祉部地域包括ケア推進課
Regional Support Division

副室長
石井 優 紀
Yuuki Ishii

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
TEL 025-226-1281 (内線31282)
FAX 025-222-5531
E-mail: [Redacted]
URL: http://www.city.niigata.lg.jp/

支え合いのしくみづくり
アドバイザー
河田 瑠子

電話 [Redacted]
FAX [Redacted]
E-mail [Redacted]

池野 比呂史
Hiroshi

〒956-0023 新潟市秋葉区美幸町1-2-28 Tel・FAX: 0250-25-1082
携帯: [Redacted] E-mail: [Redacted]



Yurusu Social Business

一般社団法人
田から屋

代表理事
真 島 一

携帯 [Redacted]

〒951-8007 新潟市中央区本町通6-1115-1
TEL 025-250-7787 FAX 025-250-7699
x-jp takaraya@tuba.ocn.ne.jp

NPO新潟県市民生活支援協議会
〒950-0982 新潟市中央区堀之内南1-32-4



新潟市議会議員
伊藤 健二

〒950-0984
新潟市中央区女池東1-5-11 アイドポイント本社ビル
TEL 025-282-7500 FAX 025-282-7503
携帯 [Redacted] E-mail: [Redacted]

伊藤健二事務所
http://www.itokenjaro.com

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。



山田洋子

問い続ければ未来ニイカタが変わる。

新潟市議会議員

無所属



新潟市・地域の茶の間への助成事業について

報告者 栗原 晃

少子高齢化がますます顕著になっていく現状において、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯も年々増加しており、高齢者の孤立化を防ぐためには、今後ますます地域での高齢者見守りが重要となり、支援体制の早期構築が求められています。新潟市では、地域包括ケアシステムの構築に向けて「新潟市地域の茶の間支援事業」を立ち上げた。これは子どもから高齢者、障がい者等だれでもが気楽に集まり交流することができる場である地域の茶の間の設置を支援し、それを拠点として多世代交流及び地域の助け合い意識の醸成を促進することで、市民が安心して安全な生活を送る事が出来るよう、住民同士がお互いに助け合う地域づくりの推進を図ることを目的としてこの事業が始まった。また空き家対策として「地域提案型空き家活用事業」を行い地域で空き家問題を考える仕組みを構築した。調査研究事業として空き家マップ台帳の作成、空き家の活用計画の作成、空き家の除去跡地の活用計画の作成、空き家や跡地に関する地域のルールづくりなどに助成金を補助、さらに、空き家活用事業/跡地活用事業として、空き家を集会・交流施設や文化施設などで活用や、空き家の除去跡地をコミュニティ広場などで活用した場合などに助成金を補助する。管理が十分でない空き家によって、地域に様々な問題が発生するおそれがあり、また空き家所有者への働き掛けができないと、問題が長期化するおそれがあります。このような問題への具体的な対策としてこの事業があります。地域包括ケアと空き家対策を抱き合わせた事業が新潟市の目指す「支え合いによる地域づくり」でありそれを具現化したのが、「実家の茶の間・紫竹」です。この様な施策を是非郡山市でもやりたいです。

新潟市地域包括ケア推進モデルハウス 実家の茶の間・紫竹

開設2周年お祝い会

次 第

と き 平成28年10月19日(水)
11時00分から14時00分

と ころ 新潟市東区紫竹4-21-62
新潟市地域包括ケア推進モデルハウス
実家の茶の間・紫竹

1. 開式

2. 挨拶

新 潟 市
実家の茶の間

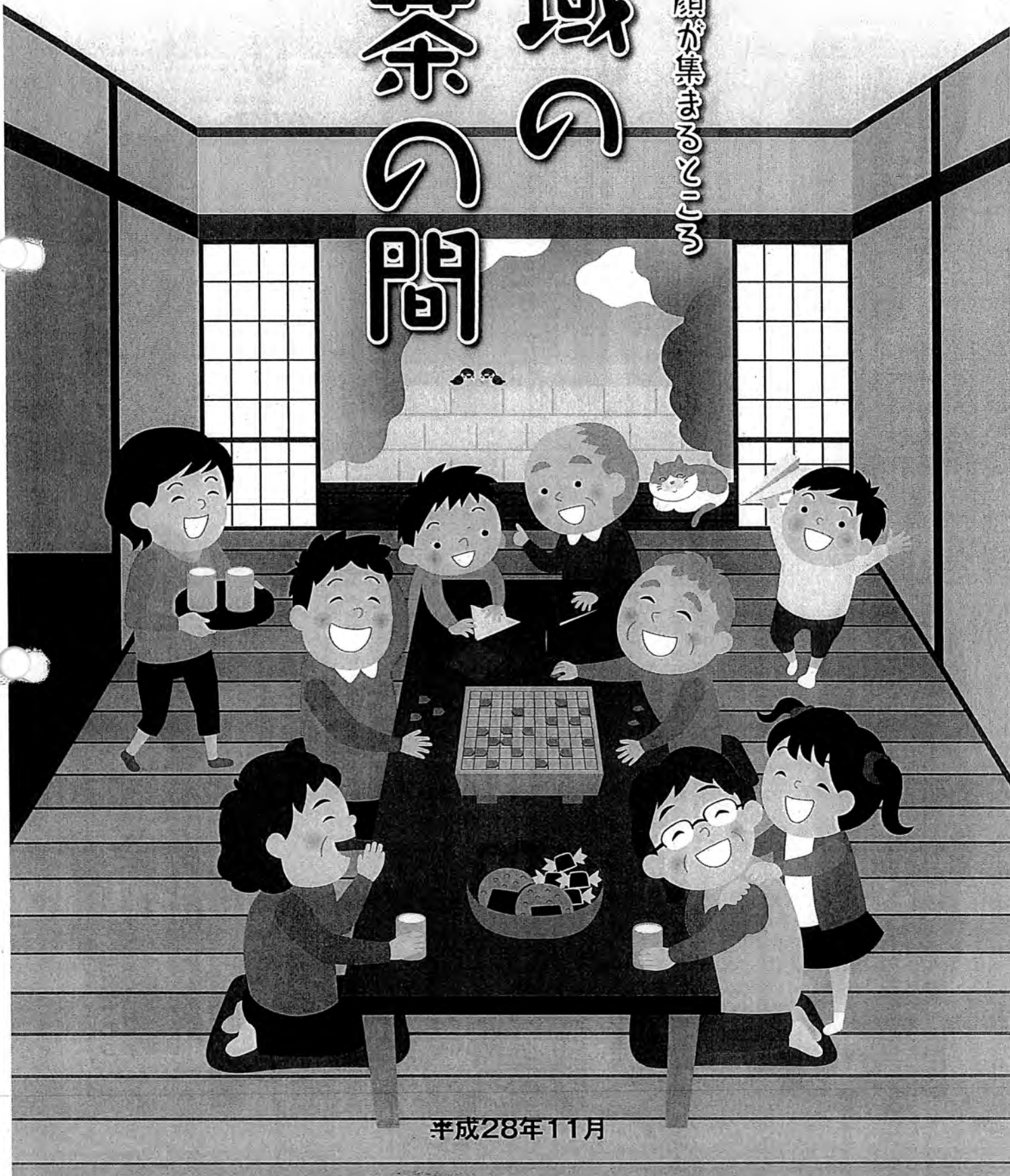
高井 昭一郎 理事
河田 珪子 代表

3. 閉式

始めて
みませんか!

地域の 茶の間

みんなの笑顔が集まるところ



平成28年11月

平成29年4月より

「地域の茶の間」の助成を見直します！

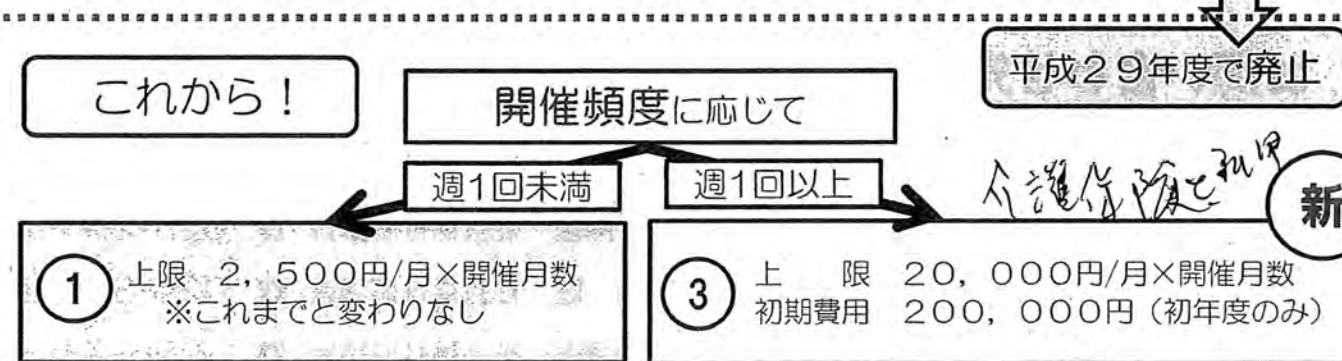
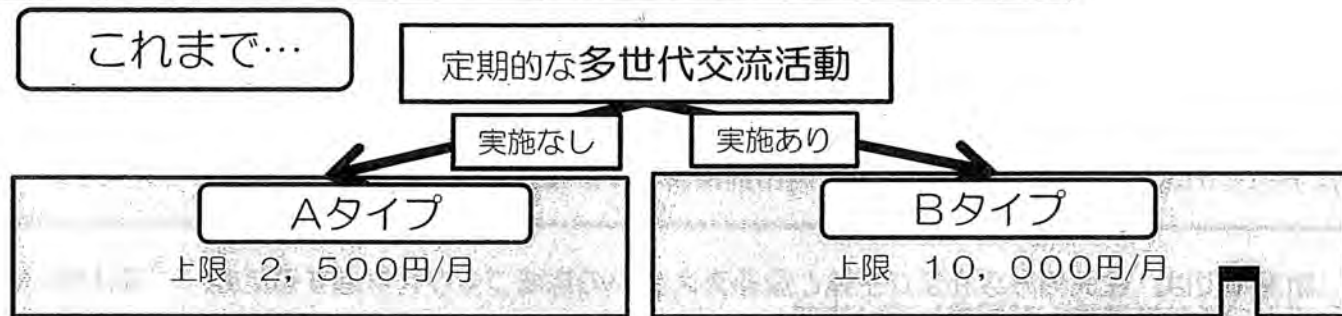


1. なぜ見直したの？

地域のみなさまによる「地域の茶の間」は、新潟市内で約500箇所となりました。「地域の茶の間」を通じ、自然と新たな人と人とのつながりや隣近所同士の助け合いの気持ちが生まれてきていることと思います。

この素晴らしい取り組みがより広がるよう、開催頻度に応じた制度に見直しを行い、みなさまの運営を支援します。

2. どう変わるの？



◆週1回への移行応援制度 **新**

【要件】

- ◆月2回以上定期的に開催
- ◆参加者概ね10名以上
- ◆週1回への事業（移行）計画書の提出（3年以内に移行）
- ◆上限 5,000円/月×開催月数

3. 要件と対象となる経費は？

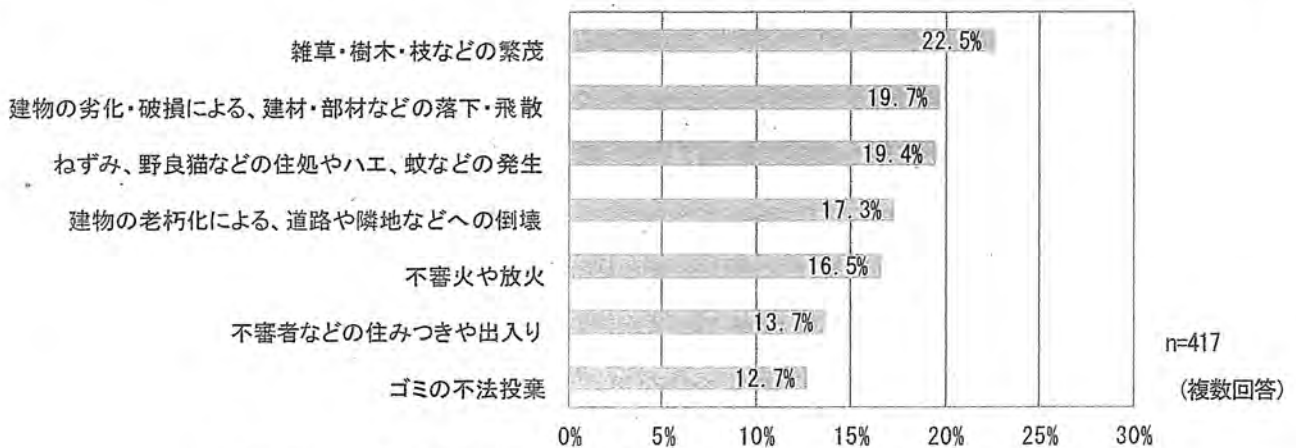
事業名	地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン助成事業		地域の茶の間支援事業
開催頻度	①月1回	②月2回以上	③週1回以上
申請要件			
参加人数	概ね10名以上		高齢者が概ね10名以上
参加対象	子どもや高齢者、障がい者等、対象者を限定せずにだれでも自由に参加可能		
その他	事業(移行)計画書の提出 ※助成は3年以内		
運営経費			
月額上限	2,500円	5,000円	20,000円
講師謝礼	○	○	○
消耗品	○	○	○
印刷代	○	○	○
光熱水費	○	○	○
ボランティア保険	○	○	○
通信費	○	○	○
会場費・家賃	○	○	○
お茶・茶菓子・食材料費等	○	○	×
初期費用			
初年度のみ(1回限り)			200,000円
消耗品費			○
印刷代			○
備品購入費			○
不動産の修繕・改築			×

地域提案型 空き家活用事業

地域で空き家問題を考えてみませんか？

管理が十分でない空き家によって、地域に様々な問題が発生するおそれがあります

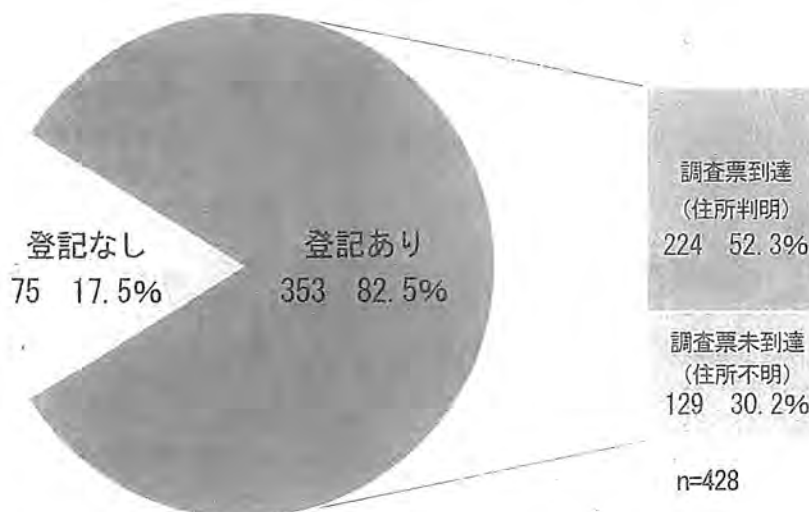
- ・地域が空き家に対して感じている問題で最も多いのは、「雑草・樹木・枝などの繁茂」で約 23%
- ・次いで「建材・部材などの落下・飛散」で約 20%、「ねずみ、野良猫などの住処やハエ、蚊などの発生」で約 19%



グラフ：地域が空き家に関して感じている問題（新潟市空き家モデル調査）

空き家所有者への働きかけができないと、問題が長期化するおそれがあります

- 空き家モデル調査で把握した空き家のうち、「所有者の所在を把握できない空き家」は全体の約 48%
- ・地域で、空き家所有者を把握していることが、「もしもの時の安心感」につながります



グラフ：空き家の登記の状況（新潟市空き家モデル調査）

※空き家モデル調査

本市における空き家の特性を分析することを目的として、平成 24・25 年度に 35 地区、家屋数 9,127 戸を対象に実施した調査。

9

新潟市空家等対策計画

平成28年3月

新 潟 市

高崎市の空き家対策について（空き家緊急対応総合対策事業）

報告者 栗原 晃

空き家は個人財産であり、所有者が自己責任で管理すべきだが、空き家増加を起因とする社会問題の拡大、多様化を受け、行政としても空き家の減少、空き家問題の解消につながる対策を講ずるべきと考え、空き家問題は地方都市の重要課題ととらえ、24年度から空き家対策の施策について関係各課を集め検討を始めた。その後職員により現地調査を実施し、26年度6月から市独自の取り組みである空き家緊急総合対策事業を開始した。平成29年度版は「空き家の管理、解体、活用を支援します。」としている。内容は制度1：空き家の建物内部の清掃や敷地内の除草にかかった費用の一部を助成。制度2：解体費用の一部を助成。制度3：解体跡地の除草にかかった費用の一部を助成。制度4：お年寄りの方のサロンや乳幼児を持つ親などが懇談できるサロンとして活用する場合の一部を助成。制度5：空き家をサロンで借りる場合、家賃の一部を助成。制度6：住居として活用する場合改造の一部を助成。制度7：過疎地域を居住として借りる場合、家賃の一部を助成。制度⑧：事務所や店舗として活用する場合、改修費用の一部を助成など8つの制度を創設した。昨年度の実績として138,791円だった。とくに、空き家をサロンとして活用する場合の助成金の反響が大きく、空き家の有効活用において効果のある施策であることが実証された。この事業は郡山でも有効ではないか。



9

高崎市議会副議長

林

恒^{つね}

徳^{よし}

高崎市議会事務局
高崎市高松町三五番地一
電話(〇二七)三二一―一―一(代)



高崎市議会事務局議事課

山崎 さおり

〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
TEL 027-321-1281
FAX 027-327-8303
E-mail: giji@city.takasaki.lg.jp

高崎市の空き家対策について（空き家緊急総合対策事業を中心に）

1. 本市の空き家の現状

（平成25年総務省住宅土地統計調査の推計値より）

市内住宅戸数 約178,220戸 *所有者不明?*
 空き家戸数 約26,450戸（うち、戸建て住宅空き家 約11,210戸）
 空き家率 14.8%（全国13.5%、群馬県16.6%）

・市内空き家の内訳

約26,450戸	二次的住宅	960戸	
	賃貸用住宅	15,920戸	
	売却用住宅	350戸	
	その他住宅	9,220戸	<ul style="list-style-type: none"> 腐朽破損あり 3,210戸 腐朽破損なし 6,010戸

2. 空き家対策の組織体制について

空き家をもたらす問題を解消するには、防災、衛生、景観等多岐にわたる課題に横断的に応える必要がある。

（本市の場合）

- ・空き家については、市の 総合窓口 *H26.* としてまずは 建設部建築住宅課 *担当.*（職員3～4名）で対応。
 対応として、現場確認後（位置、写真、目視で確認）、所有者へ電話、手紙等連絡する場合もあり。
- ・必要に応じて、関係各課へ伝達
 - 建物が壊れそうで危険 → 建築指導課
 - 通行の妨げになる → 管理課
 - 草の繁茂は激しい → 環境政策課
 - 火災の危険がある → 消防局予防課
 - 防犯上問題がある → 防犯・青少年課

27年から空家等の特別措置法施行により、建築住宅課で対応するケースが多くなっている。現時点では、特別措置法に基づく指導、勧告、命令等実績なし。

3. 空き家緊急総合対策事業を行うに至った経緯

所有者の意向に添って補助.

空き家は個人財産であり、所有者が自己責任で適正に管理すべきものですが、空き家増加を起因とする社会問題の拡大、多様化を受け、行政としても空き家の減少、空き家問題の解消につながる対策を講ずるべきであると考えました。市長は、空き家問題は地方都市の重要課題ととらえておりまして、平成24年度から空き家対策の施策について関係各課を集め検討を始めました。

また、平成25年の11月から12月にかけて、空き家と想定される約500件の戸建て住宅について、職員による現地調査を実施した。空き家の地域性を考慮し、中心市街地、郊外、倉淵地域など8地区を対象に空き家の有無を確認し、空き家の老朽度合いを優良、普通、老朽、老朽危険の4段階に区分した。その結果、中心市街地など旧市街地では老朽度合いの高い空き家が多く、一方、郊外では比較的優良な空き家が多いことが判明した。

この調査と上記の住宅土地統計調査の推計結果を受け、空き家解消に向けて、老朽化した空き家の除去と利用可能空き家の活用を同時に進める、総合的な施策を実施していく必要があるとの判断に至り、平成26年6月から本市独自の取り組みである空き家緊急総合対策事業を開始した。



宮井修一さん

倉賀野町上3区副区長。空き家を活用して開館した地域の集会所（コミュニティセンター）の館長を務める。



空き家 活用ヒント



浅香千恵さん

吉井町在住。iitoko(いいとこ)代表。空き家を活用し、発達障害の子どもを持つ母親が集える場として整備した。



倉賀野上3区コミュニティセンター

市の空き家緊急総合対策事業の助成第1号として昨年12月に開館した「倉賀野上3区コミュニティセンター」。これまでは地区に公民館が無く、集会などでは区長の家など個人宅が利用されていた。現在同センターは、町内の集会やカルタの練習などの育成会活動、高齢者向けの体操などで利用されている。地域では気軽に集まれる「場」として今後も活用の幅を広げていきたいと考えている。



頑張るお母さん支援事業「iitoko(いいとこ)」

「いいとこ」は発達障害の子どもがいるお母さんを支援する団体として昨年5月に設立された。空き家緊急総合対策事業の助成を使って吉井町内の空き家を改装し、今年1月にサロンとして開館（左写真は開館時のイベントの様子）。「実家のような」を合言葉に、障害のある人も無い人も気軽に立ち寄れるサロンを目指している。

ここに明かりが灯るようになって、近所の人も安心したようです。
市長 浅香さんは頑張るお母さんの支援ということ、発達障害の子を持つ母親が集まる場として空き家を活用されたんですね。
浅香 はい。発達障害の子を持つお母さんは、どう育てていけばいいのかわからないで悩みを抱え込んでしまいがちなんです。そこで有志10人で「いいとこ」という支援団体を作りました。活動を始めるのと反響が大きく拠点が必要になったんです。
市長 なぜ空き家を？
浅香 居心地のいい「実家のような」ところを探しています。今の空き家を見つけて「これだ」と思いました。
市長 お二人とも所有者との話はすぐにまとまりましたか。
宮井 はい、連絡をしたら家主さんも制度をご存じで、すぐに承諾してくれました。
浅香 うちのスタッフの親戚の持ち家でした。活動の趣旨を話してお願したら、改修費の3分の1を支援してくださって。本当に居心地の良いところで、ここならお母さんたちも少しづつ



富岡賢治高崎市長

高崎市の空き家助成は日本でも誇れる制度です

全国に先駆けた支援制度「空き家緊急総合対策事業」を打ち出し、空き家問題に取り組んでいる。



撮影場所：倉賀野上3区コミュニティセンター

空 空き家が年々増加していて、全国的に問題となっています。市は昨年6月から、空き家を管理・解体・活用する場合に、かかった費用の一部を助成するという全国でも例のない「空き家緊急総合対策事業」を始めました。今回はこの助成を「人が集える場づくり」に活用した2人の市民をお迎えし「空き家」について考えます。

全国でも例のない 空き家対策の助成制度

市長 地方都市で空き家は大きな問題です。全国でやっている空き家対策は、条例を作って所有者に管理を何度もお願ひし、それでも何もしない人の名前を公表して管理を促す、というものです。でも空き家になるのにはそれなりの理由がある。私は無理なく空き家がなくなるような積極的な方式を取っていくのがいいと思っています。制度を作ったんです。
宮井 高崎市が条件として一番いいと思います。
市長 全国の空き家対策を全部調べ上げて、一番いいところを全部並べました。これは日本でも誇れる制度だと思っています。

空き家活用・それぞれの事情
市長 制度が始まるともものすごい反応がありました。
宮井 高崎市の条件として一番いいと思います。
市長 全国の空き家対策を全部調べ上げて、一番いいところを全部並べました。これは日本でも誇れる制度だと思っています。
宮井 高崎市の条件として一番いいと思います。
市長 全国の空き家対策を全部調べ上げて、一番いいところを全部並べました。これは日本でも誇れる制度だと思っています。

悩みを解決できるかなって。
市長 居心地を考えると公の施設では難しい。活動は吉井地域の人がいい。
浅香 箕郷や市外の人もいますよ。スタッフに美容師がいて「いいとこカット」というのもやっています。
市長 閉症の子などは自分の思いを伝えることが難しいので、子どもが切ってもいいよと合図を出すまで待つんです。これまで嫌がる子の髪を無理やり切っていたお母さんたちの「あつたらいいな」をかなえるために始めました。利用したお母さんが泣きながら末永いお付き合いよろしくお願ひしますと言ってくださって。
市長 それはうれしですね。良い話を聞かせてもらいました。お年を召した方も同じで、居心地の良いお茶のみ場所などは、市が作っても難しいですね。町内にある気楽な、この家のような感じの場所がいい。他にも吉井や榛名、倉賀野の人口減少地域の対策として都市部の家族が空き家を借りて住む場合に、家賃を半額補助するという制度もありますが、まだ利用者がいまいません。都市部では小学生の間



高崎経済大学名誉教授
原田 寛明さん

建設省勤務を経て1996年から高崎経済大学地域政策学教授として都市計画学、住宅政策論等を指導。住宅マスタープラン策定委員ほか各種委員を歴任。

老朽化空き家の諸問題
一般に空き家率は地方都市の方が高い傾向にあります。空き家にはいろいろな問題が、特に問題となるのは適正に管理されずに放置された空き家です。ネズミや害虫の大量発生、雑草の繁茂など生活環境上の問題や倒壊・放火などの防災上の問題、不法侵入などの防犯上の問題、さらにはごみの不法投棄や景観の阻害などの問題が懸念されます。いずれも周辺住民に迷惑をかけてしまうもので、何らかの対策が必要になります。

追われました。
全国平均を上回る
本市の空き家率
「空き家」と聞いてどんな住宅を思い浮かべるでしょうか。空き家とは、普段人が住んでいない住宅のこと。一軒家・マンション・アパートなどで、賃貸や売却のための住宅も含まれます。また、転勤や入院などにより長期にわたって不在になっている住宅や別荘などのために利用されない住宅、建て替えのために取り壊すことになっている住宅も空き家です。(住宅・土地統計調査の用語から引用)
平成20年住宅・土地統計調査によると、全国の空き家数は757万戸。空き家率は(住宅総数に対する空き家数の割合)は13.1%で8戸に1戸は空き家です。本市の空き

インタビュー
interview

空き家問題について専門家に聞きました
街づくりの視点から考える
空き家対策の今後

老朽化空き家の諸問題

しかし、私有財産であるため、苦情を受けた自治体もどうにもできなかったのがこれまでの現状でした。11月に空き家対策の特別措置法が成立したことで、自治体も動きやすくなりました。倒壊など周囲に危険を及ぼすような場合には、法を活用した強制力が必要になってくるでしょう。

方自治体が一体となって対応していく必要があります。将来的には、現在急増しているマンションの空き家が問題になってくるでしょう。

市の助成を活用して
街づくりに生かして
これまで経済的な問題から空き家に手を付けられなかった人もいるでしょう。そうした人々たちを後押しするという意味では、高崎市の助成は効果的です。空き家を適正な管理に導いていく形の制度だと思っています。

まちなかななどで、使える空き家を有効活用するのも一つの方法。高齢者向けのサロンや住宅など福祉への転用は全国でもよく見られる事例です。街づくりの観点からいえば、例えば郊外の解体可能な空き家については、地域を荒廃させないよう、解体し縮小していくというスマートシュリンクの考え方で、街全体のコンパクトシティ化を進めることも必要でしょう。

【用語解説】

スマートシュリンク (Smart Shrink)
空地や空き家の発生により地域を荒廃させたり、生活環境を悪化させたりしないための「賢い縮小」のことをいう。土地や建物など、その地域に必要なものだけを維持・保有する。代替可能と判断できれば統合や廃止・売却を行う。都市計画などの地域マネジメント手法で用いられる。

コンパクトシティ (Compact City)
機能を街の中心部に集中させた都市のこと。郊外から都市部へ居住人口を呼び込んだり、都市の機能を集めたりすることによって、相乗的な経済交流活動が活発になり、中心市街地の活性化が期待できるとされる。

【老朽化した空き家はココが危ない】

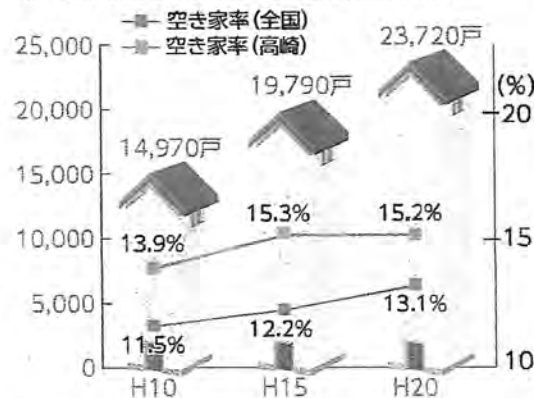


生い茂った雑草は冬には燃えやすい枯草に

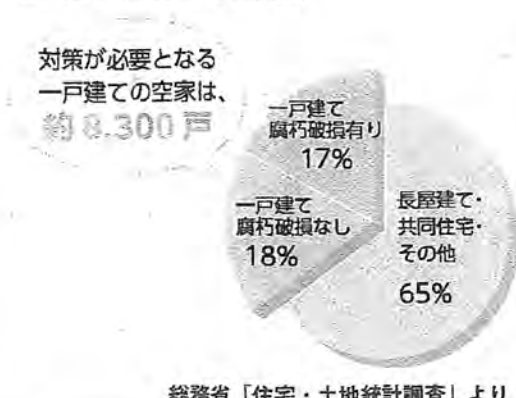
家数は約2万3720戸でそのうち一戸建ての空き家は8300戸。空き家率は15.2%で全国平均を上回っています(下図参照)。
市街地に多い危険な空き家
空き家のうち、問題になるのは老朽化し放置されている一戸建ての住宅です。人の手が入らない空き家は次第に傷み壊れていきます。自然災害などによる倒壊や、庭木が生い茂ることで隣家や通行人の迷惑になることもあります。
市が行った実態調査(平成25年度実施)によると、中心市街地では、老朽化した危険な空き家が多いことが分かりました。
こうした危険な空き家をなくし、利用可能な空き家を活用していく。空き家対策には両方の取り組みが必要です。

【データでみる「空き家」問題】
平成20年の住宅・土地統計調査によると、全国の空き家件数は年々増加。平成25年度調査の速報でも、空き家件数、空き家率ともに過去最高です。総住宅数が総世帯数を上回る状況

■ 高崎の空き家戸数と空き家率の推移



■ 高崎市の空き家の内訳



そもそも「空き家」ってなにぞや!?

大都市、地方都市を問わず全国的に空き家が問題となっています。そのすべてが周囲に悪影響を及ぼすわけではありません。どんな空き家が問題で、本市の空き家はどのような状況なのかを見てみます。

会派名

新政会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目				金額	小計	
1	調査研究費	会派行政調査に係る旅費の戻入れ (H29.7.10~H29.7.12)	交通費		旅費	-23,600	自動車燃料費 振込料	-23,600
			資料作成費		調査委託費			
2	研修費		会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
			交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
			送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料					
4	広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
6	会議費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
7	資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
			振込料					
8	資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞雑誌等購読料	
			有料データベース等利用料		振込料			
9	人件費		賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
			その他					
使用者	共通		支出年月日	29年 9月 22日	現金出納簿 支出番号	//	合計	-23,600 円

支出明細書兼支出証明書

支出番号 〇〇

区 分				※該当する区分に〇印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		旅費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)	会派行政調査時旅費精算に係る戻入れ （平成29年7月10日～平成29年7月12日 音威子府村、旭川市、千歳市）				
内 容	正当額 932,320円				
	既支出済額 955,920円				
	戻入額 23,600円				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
29年9月22日	米済用 		-23,600円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

行政調査旅費計算書

確定

会派名 : 新政会
 参加議員 : 遠藤敏郎、石川義和、廣田耕一、栗原晃、橋本幸一、會田一男、折笠 正、渡部龍治
 日程 : 平成29年7月10日(月)～7月12日(水)
 行先 : 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校(北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地の1)
 旭川市役所(北海道旭川市6条通9丁目46番地)
 千歳市防災学習交流センター「そなえる」(北海道千歳市北信濃631番地の11)

7月10日	郡山	新幹線 やまびこ 41号	仙台	仙台空港 アハ線 仙台空港行	徒歩 5分	仙台	ANA 4801便	新千歳	徒歩 7分	新千歳						
	駅		駅	駅		駅	便	空港		空港	駅					
運賃		125.1	17.5				664.0								2,680	
急行料金		3,110														3,110
グリーン																0
実費																0

	新千歳	JR快速 ポート 113号 札幌行	札幌	JR特急 ライラック 15号 旭川行	旭川	JR特急 カムイ 1号 稚内行	音威子									
	空港		駅	駅	駅	府	駅									
	駅	46.6		136.8		129.3										
運賃																5,860
急行料金																2,380
グリーン																4,110
実費																0

7月11日	音威子	JR特急 カムイ 2号 旭川行	旭川	JR特急 ライラック 26号 札幌行	札幌											
	府		川	川	駅											
	駅	129.3		136.8												
運賃																5,860
急行料金		2,320		2,320												4,640
グリーン																0
実費																0

7月12日	札幌	JR快速 ポート 86号 新千歳 空港行	千歳	バス	千歳市 防災学習 交流	バス	千歳	JR快速 ポート 146号 新千歳 空港行	新千歳	徒歩 7分	新千歳	ANA 1114便	福島	連絡 バス	郡山	
	駅		駅		センター		駅		空港		空港		空港		駅	
		41.0						5.6				720.0		30.9		
運賃		※2		※3		※3		※2				※4		1,100		1,100
急行料金																0
グリーン																0
実費																0

※1区間の航空機運賃 172,200円(8名分)
 ※2区間は、前日の乗車券を引き続き利用。
 ※3区間は、交通雑費に該当するため交通費に算入しない。
 ※4区間の航空機運賃 213,400円(8名分)

交通費(航空機運賃除く)	29,740	×	8名	=	237,920
航空機運賃	172,200(往路)+213,400(復路)			=	385,600
日当	3,000 × 3日	=	9,000	×	8名
宿泊費	14,800 × 2泊	=	29,600	×	8名
					236,800
合計					932,320 円

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証 新政会 様 No. _____

金額

7172200.-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等 (%)

コクヨ ウケ-92

但 1/10 旅業協会保証社員
29年6月19日 上記正に領収いたしました

全国旅行業協会保証社員
福島県知事登録国内旅行業第3-165号

ユニーク旅行

〒963-8852 郡山市台新1-4-1
TEL 024-924-1350



領 収 証 新政会 様 No. _____

金額

7213400.-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等 (%)

コクヨ ウケ-92

但 1/10 旅業協会保証社員
29年6月19日 上記正に領収いたしました

全国旅行業協会保証社員
福島県知事登録国内旅行業第3-165号

ユニーク旅行

〒963-8852 郡山市台新1-4-1
TEL 024-924-1350



行政調査旅費計算書

確定前

会派名 : 新政会
 参加議員 : 遠藤敏郎、石川義和、廣田耕一、栗原晃、橋本幸一、會田一男、折笠 正、渡部龍治
 日程 : 平成29年7月10日(月)～7月12日(水)
 行先 : 北海道おといねっが美術工芸高等学校(北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地の1)
 旭川市役所(北海道旭川市6条通9丁目46番地)
 千歳市防災学習交流センター「そなえーる」(北海道千歳市北信濃631番地の11)

7月10日	郡山駅	新幹線 やまびこ 41号 125.1	仙台駅	仙台空港 アモレ線 仙台空港行 17.5	仙台空港	徒歩 5分	仙台空港	AIRDO 101便 664.0	新千歳空港	徒歩 7分	新千歳空港										
運賃			2,680					※1												2,680	
急行料金		3,110																			3,110
グリーン																					0
実費																					0

	新千歳空港	JR快速 ポート 113号 札幌行 46.6	札幌駅	JR特急 ライオン 15号 旭川行 136.8	旭川駅	JR特急 ライオン 1号 稚内行 129.3	音威子府															
運賃																						5,860
急行料金																						2,380
グリーン																						4,110
実費																						0

7月11日	音威子府	JR特急 ライオン 2号 旭川行 129.3	旭川駅	JR特急 ライオン 26号 札幌行 136.8	札幌駅																	
運賃																						5,860
急行料金																						2,320
グリーン																						2,320
実費																						0

7月12日	札幌	JR快速 ポート 186号 新千歳 空港行 41.0	千歳	バス	千歳市 防災学習 交流 センター	バス	千歳	JR快速 ポート 146 号新千歳 空港行 5.6	新千歳	徒歩 7分	新千歳	ANA 1114便 720.0	福島	連絡 バス 30.9	郡山							
運賃		※2		※3		※3		※2				※4										1,100
急行料金																						1,100
グリーン																						0
実費																						0

※1区間の航空機運賃 @21,200円×6人+@30,000円×2人=187,200円
 ※2区間は、前日の乗車券を引き続き利用。
 ※3区間は、交通雑費に該当するため交通費に算入しない。
 ※4区間の航空機運賃 @26,100円×6人+@32,700円×2人=222,000円

交通費(航空機運賃除く)	29,740	×	8名	=	237,920
航空機運賃	21,200×6名+30,000×2名+26,100×6名+32,700×2名			=	409,200
日当	3,000	×	3日	=	9,000
宿泊費	14,800	×	2泊	=	29,600
				×	8名
				=	236,800
合計					955,920 円